

自分たちでつくり上げていく狂言

11月29日(月)、2校時から4校時に、6年生は、山口耕道先生にご指導していただきました。

山口耕道先生は、6年生の猿唄の練習の中で、「6年生は、よくうたい込んでいますね。」とほめてくださいました。また、「6年生を見ると、やる気がすごく伝わってきます。」ともおっしゃいました。うれしい言葉です。

《山口先生より》

(山口先生は、)自分たちでつくっていく手助けをしていきます。

絵を描いている人の話です。絵画でも模写があります。有名な絵画を模写しているうちに、筆をどんな気持ちでおいたのかがわかってくることがあると聞きました。

伝統芸能もそうです。650年前に流行りだして今まで続いています。映像が残っているわけではありません。幸い言葉は残っています。江戸時代の人と同じ言葉を発しています。そして、今を生きている自分が、昔の言葉をかりて表現します。そのことが、未来にもつながっていくのです。

伝統で、守らなければならないのが形と言葉です。形は残した方がいいのです。その中に込められる思いは変わっていいのです。むしろ変わった方がいいのです。自分の思いを自由に込めていったらいいのです。

器があって、そこに何をつめるかは自由なのです。

狂言の動き方は、三角形です。

動きと言葉で、場面転換ができます。そして、演じている者(自分)がそう思うことが、相手に伝える第一歩です。

★同級生の言葉を聞いてください。『本を読む』ということの一つ越えて、実際のセリフのように言いましょ。

★人に聞いてもらおうとするテクニックとして、**語尾を少し上げるようにしましょ。**

★練習する時は、**人にどう伝わるかを意識して行いましょ。**

★全体的に言葉が早くなります。**相手にどのように伝えたいのか、相手にどのように伝わっているのかを考えながらセリフを言いましょ。** ゆっくり話しましょ。



★台本読みは、今日(11月29日)で終わりにしましょ。次からは、いかに登場人物の思いをのせてくるかを稽古してください。伝えようと思う意識をもって話しましょ。

★どんなテンポで、どんな間合いで言うといいかを考えて話しましょ。

★句読点を大切にしましょ。

★恥ずかしさを克服出来たらいいけす。

初稽古を終えて



声出しをしてお腹が疲れました。
2月の狂言発表会の本番に向けて、頑張ります。
最後までやり抜きます。
ご指導をどうもありがとうございました。

次回の練習は、12月13日(月)です。
6年生のみなさん、11月29日の練習で見つけた課題を、次回のお稽古までにクリアできるよう目標を持って練習を頑張りましょう。

国際交流ビデオ会議(5・6年生)

12月3日(金)に、台湾のキャンピン小学校と、国際交流ビデオ会議を行いました。6年生が2校時に、5年生が3校時に、ビデオ会議を行う予定でした。

ところが、12月3日(金)9時28分に地震が発生したため、一時中断し、まず運動場に避難しました。その後、様子を見ながら、予定の時刻より遅らせてビデオ会議を再開しました。

6年生は『将来の夢』について、5年生は『自己紹介(自分の好きなもの、できることとできないこと)』について交流しました。



《5年生の交流の様子》



地震による避難を行いました



12月3日(金)9時28分
地震が発生しました。
兵庫県南東部は震度3でした。
3階・4階と、上ほどよく揺れました。



地震が起こったら、「身の安全の確保」が最優先です。

屋内にいる時は、頭を守り、大きな家具から離れ、テーブルや丈夫な机などの下に隠れます。また、火元の近くにいる場合は、火を消し、扉を開けます。(避難経路を確保しておきます。)慌てて外に出るのは危険です。

屋外にいる時は、ブロック塀や自動販売機、看板などの落下する危険性があるものから離れます。頭を守るためにカバンなどを頭上にかざします。

子どもたちは、避難の指示に従い速やかに運動場に避難をすることができました。